

# 一般質問

11月30日、12月1日、4日の本会議で、24人の議員が市政全般について一般質問を行いました。要旨は次のとおりです。また、各議員タイトル欄のQRコードから録画中継をご覧いただけます。



立憲民主緑風会  
谷口 敏也 議員



## 子どもの意見を市の施策に反映せよ

**答** 意見表明の機会を更に確保し、反映できる仕組みづくりを検討する

**議員** 子どもの意見表明機会の確保、意見の尊重等を基本理念とすることも基本法が令和5年4月に施行された。年齢や発達に応じた子どもの意見を積極的に聞き、適切に施策に反映させる体制を早期に構築すべきと考える。所見を伺う。

**市長** 法の趣旨を踏まえ、意見表明機会の確保と施策反映の仕組みを検討する。

**議員** 「子ども計画」の策定が市町村の努力義務とされた。同計画を本市でも策定すべきだ。所見を伺う。

**市長** 本市の子ども施策の総合計画として策定することを検討している。



市制施行50周年記念事業として開催された子ども議会

**議員** 本市で実施した「子ども議会」は、市制施行記念イベントとして1回開催されたのみだ。他自治体の例を参考に、毎年開催すべきと考える。所見を伺う。

**市長** 代表者が子どもの意見をまとめて参加するなど、模擬議会としての制度について議論が必要だ。

**議員** 学校3部制の所管は教育委員会と子ども政策部にまたがる。スムーズな事業展開のために、横断組織の設置や予算の統合も必要ではないか。

**企画部長** 国立天文台周辺地区まちづくり推進本部で学校3部制モデルを構築する中で、組織と予算配分の在り方の方向を定めたい。

**議員** 老朽化が進む東部水再生センターの一刻も早い都の流域下水道への編入が必要だ。その前提となる野川水再生センター(仮称)の施設計画を早急に進めるよう東京都に要望されたい。

**市長** 直接または市長会等を通じて、引き続き、東京都に要望を行っていく。



立憲民主緑風会  
おばた和仁 議員



## まちづくりの議論のために予算を示せ

**答** やり方によって予算は変わるため、まずは市民の意見を聞いていく

**議員** 井の頭地区の小型EV車両の実証運行は赤字が続いている状況だ。令和6年5月からのAIデマンド交通への変更を鑑み、週の運行日数を減らすなど、経費削減を検討できないか。

**市長** 事業者との契約変更に関わることであり、それも踏まえて考えたい。

**議員** 国立天文台周辺のまちづくりは方向性がまとまら、一定程度の予算を提示できないのではないかと。市民からも費用対効果で納得できれば理解がもたれる。市民との議論の基盤とするためにも早期に示すべきだ。

**市長** まずは市民の意見を聞き何を移転するかなど決まってから示す考えだが、ご指摘の点は検討する。

**議員** 羽沢小で行われた説明会に市長は出席しなかった。市民と対話し協力を得たい。



日本共産党  
紫野あすか 議員



## 物価高から暮らしを守る支援を早急に

**答** 東京都の物価高騰対策を踏まえ、市として必要な支援内容を検討する

**議員** 国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の推奨事業メニューに、学校給食費の支援が明示されている。この財源を生かして学校給食の無償化を検討できないか。

**議員** 国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の推奨事業メニューに、学校給食費の支援が明示されている。この財源を生かして学校給食の無償化を検討できないか。

**議員** 国は交付金を活用した支援について、年内の予算化に向けて検討したい。

**議員** 国は交付金を活用した支援について、年内の予算化に向けて検討したい。



日本共産党  
前田 まい 議員



## 学校統合を軸とした構想の見直しを

**答** 地域課題の解決に向け、市民意見を聞きながらまちづくりに取り組む

**議員** 教員の働き方改革の観点からも小・中一貫教育の在り方を検討すべきだ。小・中学校の相互乗り入れ授業に係る教員の負担について所見を伺う。

**教育部調整担当部長** 教員の学校の移動時間を考慮した時間割としている。乗り入れ授業は中一ギャップの緩和などに有効であり、施設分離型小・中一貫教育の重要な取り組みだ。

**議員** 羽沢小と大沢台小を移転・統合し、おおさわ学園のみを施設一体型義務教育学校とする場合、教育格差につながらないか。

**議員** 浸水予想区域にある羽沢小が常に危険な状況にあるわけではない。地域の核である学校がなくなる弊害を真剣に考え、移転構想を見直すべきだ。

**第三副市長** 風水害時の避難場所を確保し、羽沢小の跡地利用で商業施設を誘致するなど総合的なまちづくりに向け、市民の意見を聞きながら検討していく。



日本共産党  
栗原けんじ 議員



## サイクルアンドバスライドの拡充を

**答** 仙川平和公園付近は適地であるため、土地利用の制約はあるが検討したい

**議員** 外環道工事による北野地域の分断を解消し、市民がスポーツできる場所を上部空間の活用が必要だ。

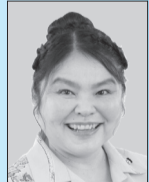
**議員** 今後の見直しを伺う。

**第三副市長** これまでも北野まつり等の単発的な一時利用はあった。今後は更に期間を長く確保できる暫定利用を要望していく。

**議員** 駐輪場へ自転車置き場を置きバスに乗り換えることができるサイクルアンドバスライド用の駐輪場を仙川平和公園付近に整備してほしいとの市民からの要望がある。検討状況を伺う。

**市長** 当該公園は都市公園法等で公園用途以外の使用が禁止されているが、駅への自転車集中抑制や公共交通機関の利用促進の効果が期待できるため、諦めず検討したい。

**議員** 住宅地に立地する公共施設は場所が分かりづら



日本共産党  
大城 美幸 議員



## 認知症の人の声を生かした計画策定を

**答** 当事者や家族に計画策定段階で参加してもらうことを検討している

**議員** 認知症基本法に基づく施策の推進計画策定には実態把握が不可欠だが、現行の「もの忘れ相談シート」では回答に抵抗がある人もいる。75歳以上の全市民を対象として、心身の機能だけでなく地域や医療とのつながりも把握できるようにチェックシートを居住確認も兼ねて導入できないか。

**健康福祉部調整担当部長** 他市の先進的取り組みも参考に検討したい。

**議員** 認知症が疑われる人への積極的な働きかけが必要だ。早期発見のための検査を気軽に受けられるよう

**議員** 認知症の人は介護されるだけの対象ではなく社会の一員だ。当事者がやりたいことを実現できるように、計画策定には当事者や家族の参加を求めたい。

**健康福祉部調整担当部長** 当事者や家族の参加を想定しており、具体的な方法は今後検討していく。

**議員** 1回目の検査を無料にしてはどうか。

**健康福祉部調整担当部長** 現時点では、認知症初期集中支援チームで対応していると考えた。検査費用の無料化については認知症施策全体の中で検討したい。

**議員** 認知症の人は介護されるだけの対象ではなく社会の一員だ。当事者がやりたいことを実現できるように、計画策定には当事者や家族の参加を求めたい。

**健康福祉部調整担当部長** 当事者や家族の参加を想定しており、具体的な方法は今後検討していく。



市内には4カ所のサイクルアンドバスライド駐輪場がある

い場合がある。施設利用者等の要望を踏まえ公共施設案内表示板等を増設することはできないか。

**都市整備部調整担当部長** 施設管理者と連携し、必要に応じて案内の充実について検討する。